

へたでほこ毛

秀島踏波展

2019年
6/14(金)
▽▽▽
7/21(日)

会場：田川市美術館

開館時間：9:30～18:30 ※入館は閉館の30分前まで

(金曜日は20:30、最終日は16:30まで)

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)

観覧料：一般500円(400円)／高大生300円(200円)／中学生以下無料

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金／田川市在住の方は、身分証明書を提示していただくと()内の料金で入館が可能
※土曜日は高校生以下無料／身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方、およびその介助者1名は無料

主催＝田川市美術館

後援＝福岡県教育委員会・赤村教育委員会・糸田町教育委員会・大任町教育委員会・川崎町教育委員会・香春町教育委員会・添田

町教育委員会・福智町教育委員会・朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・CROSS FM・LOVE FM

協力＝秀島踏波展サポート会

お問い合わせ：田川市美術館 福岡県田川市新町 11-56 TEL 0947-42-6161 HP <https://tagawa-art.jp/>



田川市美術館
TAGAWA MUSEUM OF ART

へたでも ホンモノ 秀島踏波展

添田町出身で、現在関西を拠点に活動する書家・秀島踏波。時に力強く、時に繊細に、感性の赴くままに書き、今ここに生きている「実在感」を追い求める秀島の書をご紹介します。

本展のタイトル「へたでもホンモノ」には、自分の表現したいことを思い切り表現しようというメッセージが込められています。

ヘンテコな文字の形を楽しむもよし、壁一面の詩文の書も味わうもよし、自分自身の目で自由に見て作品と対話してみてください。楽しみ方に正解はなく全部「ホンモノ」です。これまでに書の作品を鑑賞したことのない方でも、見て、感じて、書の魅力を発見してみませんか。

秀島と交流のある福岡の書家9名の作品も展示しています。この機会に、様々な表情を見せる書の世界に足を踏み入れてみましょう！

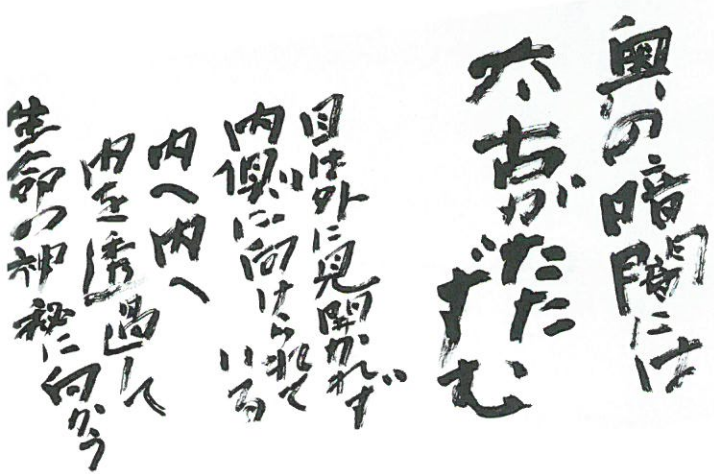


秀島踏波（ひでしま とうは）。1941年福岡県田川郡添田町生まれ。1967年奈良教育大学学芸専攻科（書道）を修了。学生時代より日本書芸院展、毎日書道展、読売書法展等に出品し受賞多数。1972年第1回目となる個展を開催。この時に、洋画家・須田烈太と出会い励ましを受ける。1988年書壇から離れ、個展での発表を主な活動の場とする。2003年には初の本格的な回顧展「書の表現、その熱き心」(主催/福井県立美術館)を開催。現在も詩人や絵画・立体作家、音楽家などとの交流の中で、自身に於ける書の在りようを模索している。



「楽」という字の古代文字だよ

<楽>



<野呂親詩「土俵（はにわ）」>(部分)



「凡」と遊ぼう！

友情出品 黒木了齋 高倉掃雲 橘魁州 棚田看山
古館政次 堀神山 山口蝸牛 山下素庵 横田無縫

イベント ギャラリートーク
秀島先生と書の世界を歩こう
秀島踏波先生と一緒に展覧会を鑑賞します。大人も子どもも、初めて書を鑑賞する人も書の面白さを発見しよう！
6月15日(土) 11:00～
会場：田川市美術館 展示室
参加費：無料

自分だけのハンコを作ろう
石に文字を刻む篆刻(てんこく)をやってみよう！ひらがな、カタカナ、好きな文字で小さなハンコを作ります。
6月16日(日) 13:00～ *2時間程度
会場：田川市美術館 AVホール
対象：大人(15歳以上)
参加費：300円
定員：先着20名程度
講師：秀島踏波
お電話にてお申し込みください。
0947-42-6161 (田川市美術館)
申込期間：5月1日～31日
*参加するには展覧会の半券が必要です。

学芸員によるギャラリートーク
6月30日(日) 11:00～
7月14日(日) 11:00～
会場：田川市美術館 展示室
参加費：無料

同時開催 美術館での展示の他、下記の場所でも作品が見られます。
6月11日(火)～6月16日(日) 11:00～18:00
*最終日は17:00まで
新天町
村岡屋 ギャラリー
福岡市中央区天神 2-8-237
(新天町南通り) 3F
TEL 092-711-1187



アクセス 田川市美術館 福岡県田川市新町 11-56
[天神・博多方面から]
[バス] 天神高速バスターミナル(福岡県立大学行)▶石炭記念公園口下車 徒歩約8分
[電車] 博多駅(福北ゆたか線)▶新飯塚駅(後藤寺線)▶田川後藤寺駅下車 タクシー約8分
[小倉方面から]
[電車] 小倉駅(日田彦山線)▶田川伊田駅下車 タクシー約6分

